

部活動に係る活動方針

伊豆市立修善寺中学校

1 部活動に係る全体計画

(1) ねらい

部活動は、運動部と文化部のどちらも心身の成長が著しい生徒にとって、自らの興味・関心等をより深く追求していく好機です。生徒が興味・関心のある活動に取り組むことを通して、主体性を育て、個性や可能性を伸ばすことができます。また目標に向かって仲間と協力する大切さや、努力を重ねてやり遂げた喜びや感動を味わい、仲間や指導者等とかわり社会性を育むことができるほか、部活動での教えやそこで経験したことが、社会人になって役に立ったり、生きていくうえでの支えになったりします。

そこで、生徒自らが目標を設定し、その達成に向けて粘り強く挑戦するとともに、公正と規律を尊ぶ態度を身に付けるなど、自己の成長を促していくことが最大限に尊重されなければなりません。また、部活動は、学級や学年の枠を超えて行われる集団活動であり、生徒が互いに協力し合い、切磋琢磨するとともに、自己の役割や責任を果たすことにより、集団づくりに寄与していくものです。集団での達成感を味わうことなどを通して、他者を思いやる心や好ましい人間関係、連帯感などの社会性を育むことにもつながっていくと考えています。なお、生徒が生涯にわたってスポーツや文化に親しむためには、日ごろの指導において、大会やコンクール等の結果のみを目的とするのではなく、それに向けた生徒一人ひとりの取組状況や体力・技能等の向上について、適切な指導や支援策を講じることが必要です。その結果、生徒自身が充実感や達成感を味わうことを通じて、その活動に自分なりの意義を見出すことを本校のねらいとする。

【目 標】

ひとりひとりの生徒を生かし、興味や教養を高めるとともに、能力適性等の発見と伸長を図る。

【努 力 点】

- ・中学生の心身の発達において、運動や文化的活動が果たす役割の大きさを理解し、積極的に心身を鍛える。
- ・大会や応援に参加することを通して、中学生としてのマナーの向上に努める。
- ・ひとりひとりが自己の役割と責任を自覚するだけでなく、自らの手で活動の場を設定するなど、自主自立の精神を養う。

(2) 加入について

自由加入とするが、特別な理由がない限り、加入することが望ましい。

(3) 活動日及び活動時間

① 活動日

ア) 水曜日は活動を原則中止とする。(中体連等の活動日を配慮する)

イ) 週休日は、原則として土曜日に活動し、日曜日は休みとする。(土・日のいずれかは休養日とする。)

*土日を大会等で活動した場合は、平日に別に休養日を設定する。

ウ) 勤務の振り替え等の休業日は、活動を休みとする。

エ) 定期テスト前3日間は、部活動中止とする。(技能教科テストは前日・当日の朝練はなし)

オ) 夏季休業、冬季休業、年度末休業中は別に決まりを定める。

カ) 朝の自主練習は 7:15~7:45 までとする。

(組織的な活動はしないこと、時間厳守)

キ) 総合防災訓練日は活動を行わない。

② 部活動時間

・平日は長くとも2時間程度

・休日、または休業中の練習は、 8:15~11:15とし、下校時間は11:30とする。

午後行う場合は、13:00~16:00とし、下校時間は16:15とする。

(※天候や活動内容によって変更する場合がある)

③ 月別活動時間 (平日)

月	部活動終了時間	完全下校時間	月	部活動終了時間	完全下校時間
4月	17:30	17:45	11月前	16:30	16:45
5月	17:45	18:00	11月後	16:15	16:30
6月	17:45	18:00	12月	16:15	16:30
7月	17:45	18:00	1月前	16:30	16:45
9月	17:15	17:30	1月後	16:45	17:00
10月前	17:00	17:15	2月前	16:45	17:00
10月後	16:45	17:00	2月後	17:00	17:15
			3月	17:15	17:30

(4) 設置部活動指導者及び内容

	部 活 名	顧 問 名	活 動 内 容
1	野 球	山口・田中	野球の基本的技術を習得。
2	ソフトボール	田中・鈴木健	基礎を習得し、楽しんで競技する。
3	男 テニス	宮崎・勝呂	ルールを学び、技術を習得。
4	女 テニス	中村・勝呂	ルールを学び、技術を習得。
5	陸 上	土屋至・三枝	走・跳・投の基本動作の習得。
6	男 バレー	谷川・三枝	基礎基本の習得。
7	女 バレー	砂間・三枝	技術やルールを体得し、楽しく試合をする。
8	男 バスケ	齊藤友・吉村	技術やルールを体得し、楽しく競技をする。
9	女 バスケ	大木一・吉村	技術やルールを体得し、人との関わりを学ぶ。
10	男 卓 球	西原・三田	基本・ルールを体得し、競技を楽しむ。
11	女 卓 球	工藤・三田	基本・ルールを体得し、競技を楽しむ。
12	剣 道	内田・三田	基本動作を体得し、競技の楽しさと礼儀を学ぶ。
13	サッカー	金原・田中	基礎技術を体得し、試合を楽しむ
14	吹奏楽	落合・鷲野	楽器演奏を通して、音楽の楽しさを学ぶ。
15	美 術	齊藤貢	イラストや絵画・立体等の技術を学ぶ。

(5) 所属生徒数

部 名	男 子				部 名	女 子			
	1年	2年	3年	計		1年	2年	3年	計
野 球	8	6	10	24	ソ フ ト	7	6	4	17
サ ッ カ ー	6	10	11	27	サ ッ カ ー	0	1	0	1
バレーボール	7	1	11	19	バレーボール	6	14	5	25
バスケットボール	6	2	5	13	バスケットボール	9	4	12	25
ソフトテニス	9	13	6	28	ソフトテニス	6	14	12	32
卓 球	9	7	6	22	卓 球	5	4	6	15
陸 上	6	5	4	15	陸 上	2	7	9	18
剣 道	1	2	4	7	剣 道	0	2	1	3
吹 奏 楽	1	1	0	2	吹 奏 楽	8	8	9	25
美 術	1	4	2	7	美 術	5	6	6	17
未 加 入	0	4	2	6	未 加 入	1	4	8	13
合 計	54	55	61	170	合 計	49	70	72	191

(6) 部活動費等について

- ・部活動費はいったん全生徒から徴収し、未加入生徒には、年度末に返金をする。
- ・各部の部活動費については、試合球、練習球、救急用具、ラインテープ、講師料や練習試合旅費等に支出し、校長へ報告する。また、保護者の理解の上で、活動に必要な経費を徴収する場合がある。
- ・公式戦旅費は市費より支出し、登録費と公式戦旅費が不足する場合は、修善寺中学校後援会費で充当する。